

事務事業評価シート (評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	スポーツ施設管理運営事業					②事業番号	7634
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	年度	⑤終了予定年度	○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称
⑦実施手法	○ 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	6	目	3	細目
⑨担当部名	⑩担当課名			会計			
教育部	生涯学習課			一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 柔道場・樽井小学校旧講堂・青少年運動広場	① 施設数	施設
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
柔道場及び樽井小旧講堂、青少年運動広場(鳴滝グラウンド)の施設の維持管理業務、修繕業務などの管理運営をおこなっている。柔道場、樽井小旧講堂の利用受付は市民体育館で行い、鳴滝グラウンドについては、地元区長の受付管理のもと、それぞれの施設において、利用者にスポーツの場を提供している。	① 施設開館日数	日
	② 施設修繕箇所数	箇所
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
柔道場を開放し、施設利用者のスポーツの場を提供する。	① 施設利用者数	人
	② 施設修繕金額	円
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
既存施設の機能を最大限に活用し、施設の充実を図る。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	2 生涯学習内容の充実
	施策小	4 スポーツの推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	施設数	施設	3	3	3	3	3	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	施設開館日数	日	365	365	365	364	365	
活動指標②	施設修繕箇所数	箇所	1	1	1	1	1	台風21号による被害のため柔道場及び樽井小旧講堂は施設を閉鎖している。
活動指標③								
成果指標①	施設利用者数	人	11,357	10,769	3,228	0	—	
成果指標②	施設修繕金額	円	293,652	66,960	86,720	127,000	127,000	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.07	0.07	0.09	0.03		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		H29年度鳴滝グラウンドにて臨時的な修繕を行ったため修繕費増加。
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費(投入人員*単価)	千円	562	562	730	243		
	直接事業費	千円	497	882	157	199		
	総事業費	千円	1,059	1,444	887	442		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,059	1,444	887	442		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	柔道場及び旧講堂は、施設として、鳴滝グラウンドについては、地元還元という趣旨で利用者に利用してもらおうとするものである。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	現在も引き続き、泉南市の柔道場施設としての役割を果たし、各施設とも利用者の体力の増進・健康維持向上に貢献する。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	施設利用者の体力の増進・健康維持向上に貢献する。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	市の施設なので施設の維持管理をする必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	グラウンド施設を利用者に供している。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	利用者の練習場所が無くなり、影響がある。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	できる範囲での施設の修繕は行っている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	台風被害で閉鎖している施設の取り扱いについて検討する。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	可能なものはすでにコスト削減を行っており、困難である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	現在、台風被害により閉鎖している施設の取り扱いについて検討が必要。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など			現在、台風被害により閉鎖している施設の取り扱いについてどのように処理するか早急検討が必要。		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策			施設の取り扱いによって生じるコストについての解決方法。市全体で検討しないといけない。		